

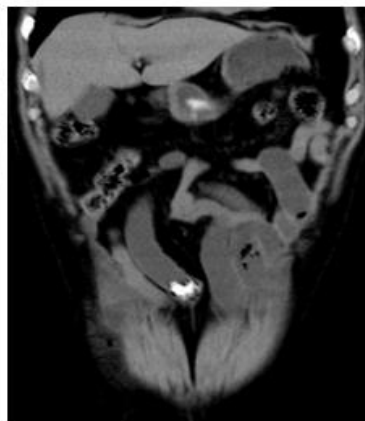
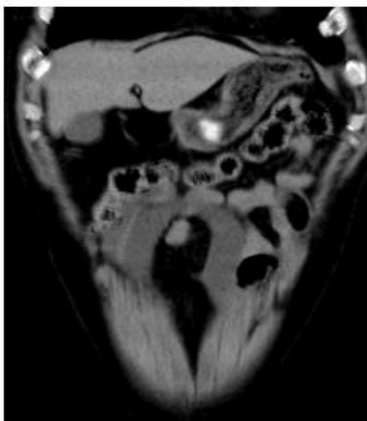
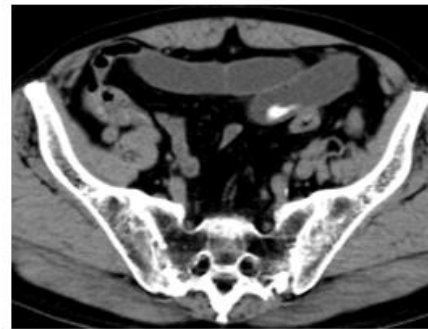
餅通過障害

餅による小腸通過障害

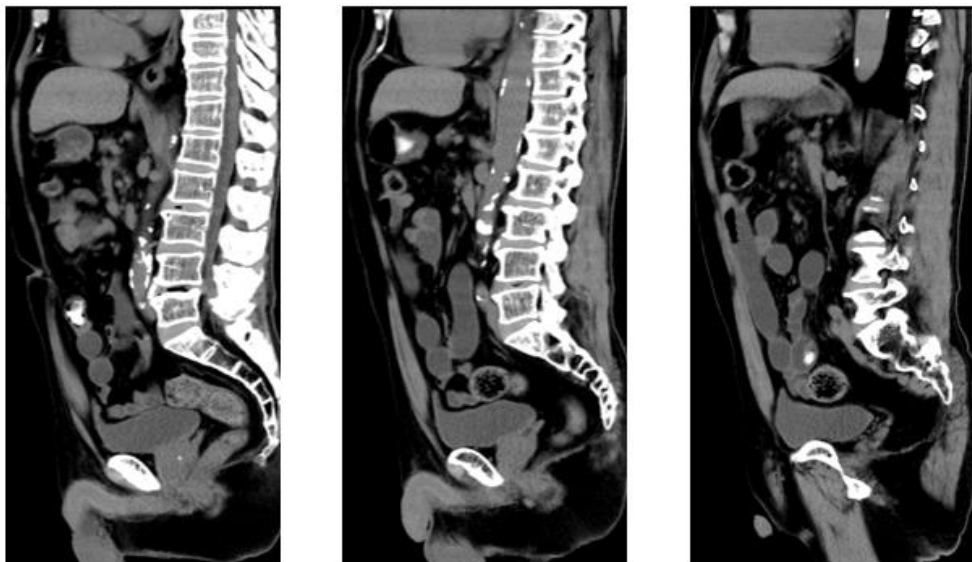
2025年1月
70代 男性



2025年
胃と小腸にCT値の高い内容物と小腸の拡張が認められる。



胃と小腸に高吸収の内容物が認められ、小腸の拡張が認められる。



胃と小腸に高吸収の内容物が認められ、小腸の拡張が認められる。



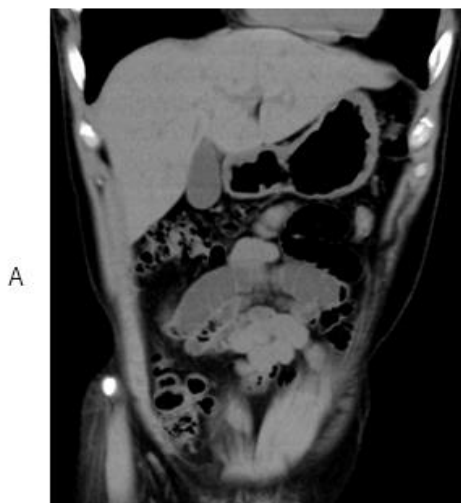
2018年1月
小腸に高吸収の内容物
胃と十二指腸に高吸収内容物は
認めず。



小腸にCT値205前後の高吸収内容物、
口側の小腸の拡張が認められる。



拡張した小腸と高吸収内容物が認められる。



小腸内に高吸収の内容物（CT値210）が認められる。
口側小腸の拡張が認められる。

発症要因

- 食餌の咀嚼不十分（歯牙 欠損，義歯，早食い，丸呑み癖）
- 食餌自体が 咀嚼・消化困難
- 水分による食餌の膨張
- 腸管の器質的異常（狭窄，憩室，過長，胃切除後）
- 腸管麻痺作用を持つ食物

食餌性通過障害(餅による)の発生部位

- ・ 回腸は、十二指腸や空腸と比べて内径が細く蠕動運動が弱い
- ・ バウヒン弁の存在により停滞しやすい
- ・ 回腸末端部とその100 cm以内の回腸での発生

デンプンとグリコーゲン：いずれも多糖

- ・ デンプンは植物のエネルギー貯蔵

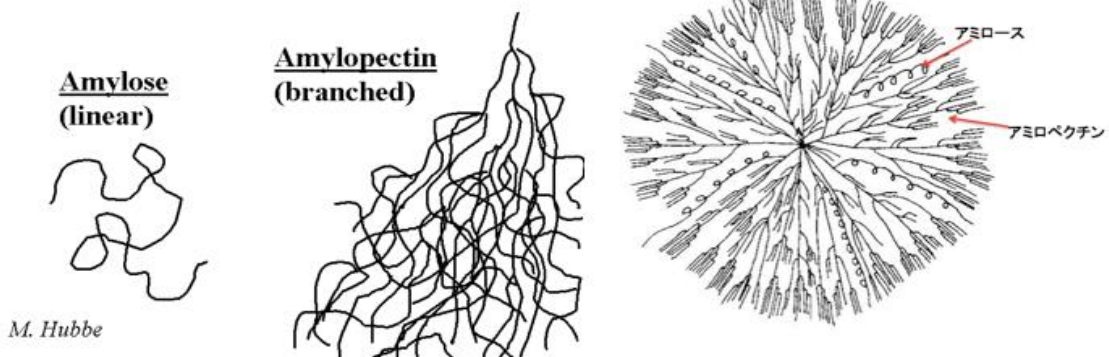
アミロースとアミロペクチンの二種類の成分から構成

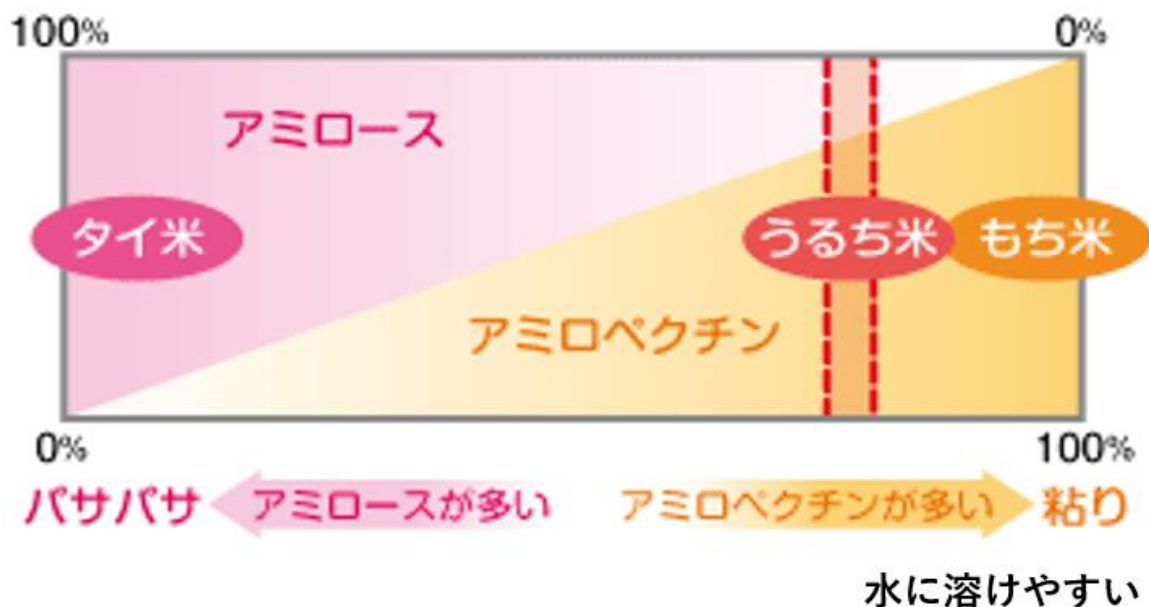
- ・ グリコーゲンは動物のエネルギー貯蔵

アミロペクチンよりさらに高分子

デンプン：Amylose 直線 パサパサ 水に溶けにくい
Amylopectin 巨大分枝 粘り気
水に溶けやすい

Native Starch Types



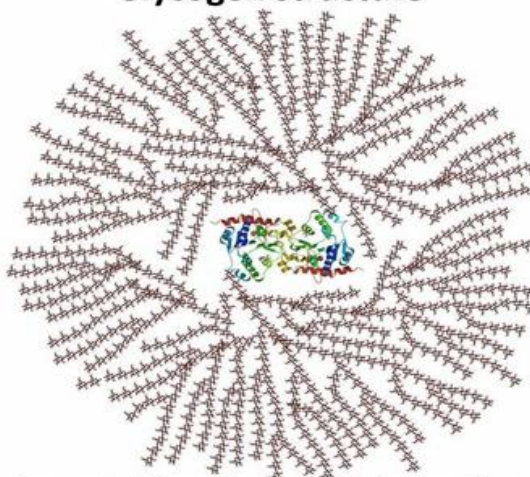


人間Glycogen ⇔ エネルギー貯蔵

多数の α -D-グルコース
(ブドウ糖) 分子枝分かれ
の非常に多い構造になった
高分子

動物における貯蔵多糖として
知られ、動物デンプンとも
呼ばれる。植物デンプン
に含まれるアミロペクチン
よりもはるかに分枝が多い

Glycogen structure



A core protein of glycogenin is surrounded by branches of glucose units.
The entire globular complex may contain approximately 30,000 glucose units.

餅のCT値

- 通常のお米と異なりCT値が高い

- CT値 124-206
(血腫100前後)

もち米 100% amylopectin